

なら

## 植防ニュース

日本植物防疫協会シンポジウム

「中山間地域における病害虫防除の課題」

9月27日に長野県ホクト文化ホールにて講演会、28日にビックハットで新技術実証・実演会が開催された。9年ぶりの地方開催で、大規模化が困難な中山間地農業における省力化・効率化に役立つ農業・防除技術や地域限定で栽培されるマイナー作物の病害虫防除の現状と課題についての講演が行われた。一部を紹介する。

長野県農業試験場の鈴木氏より、信州伊那谷におけるスマート農業技術の導入実証について講演があった。中山間地農業を支える集落営農が直面する課題を打開するため、スマート農業技術の水稲作業一貫体系導入により省力化を実現し、生じた余剰労力での園芸作物導入、販売総額の向上を目指した。利用した技術は、①「自動運転トラクタ+有人アシスト機による2台協調作業や直進アシスト田植機、自動給水栓による水管理作業、畦畔草刈り機による畦畔管理、マルチローターによる雑草・害虫防除」、②「水稲生育モニタリングによるほ場ごとの追肥管理、食味・収量情報支援コンバイン及び乾燥システム」であ

一般社団法人奈良県植物防疫協会

〒633-0046 桜井市池之内130-1  
奈良県農業研究開発センター内

TEL:0744(47)4861

FAX:0744(47)4862(専用)

HP: <http://www.narasyokubo29.sakura.ne.jp/>

## 目次

◎日本植物防疫協会シンポジウム	1,2
◎農林害虫防除研究会 シンポジウム	3
◎登録失効になった農薬 (FAMICの失効農薬情報より)	4

る。①では作業時間の削減や疲労感の軽減が実証され、②では空撮モニタリングでの追肥や収量コンバインデータに基づく施肥管理により増収がみられた。また、タンパク質含有率による米の仕分けを行うことで一部を高単価で販売できた。これらの技術導入により生じた余剰労力で、ネギやブロッコリー等園芸作物の管理に注力できるようになった。

愛知県農業総合試験場の藤田氏より、愛知県におけるマイナー作物の病害虫防除の現状と課題について講演があった。愛知県では、つまもの等の多種多様なマイナー作物を栽培している。病害虫対応の問題として、使用できる農薬が少ない、商品特性上僅かな被害も許されないため農薬が必要、マイナー作物ゆえの農薬登録上の問題が挙げられた。農薬メーカーに農薬登録の要望を挙げているが、経

済性や残留基準値等の問題により難しいとの回答が多い。このため、国レベルでマイナー作物農薬登録推進中央協議会が設置され、適用拡大を要望する都道府県が中心となり協力して登録試験に取り組んでいる。また、赤色LED やシルバーマルチなど化学農薬以外の防除技術も導入され、今後は、登録された農薬を有効に活用するため、多様な防除手段を組み合わせた防除体系の確立と普及を図っていく。

**奈良県農業研究開発センター果樹・薬草研究センターの米田氏**より、奈良県の薬用作物における病害虫防除の現状と課題について講演があった。薬用作物は農薬登録が少なく、野菜類に登録のある農薬が使用できた。本県の最重要品目であるトウキは根が生薬として利用されてきたが、近年、葉の食用利用が普及し、葉と根の両方を収穫する栽培形態が広がったため、両方に使用可能な農薬が不足する事態となった。そこで、富山県の協力を得て登録拡大試験を実施し、除草剤・殺菌剤・

殺虫剤各1剤ずつ使用可能となった。トウキは多様な病害虫が発生するが、調査事例が少なく、未知の病害虫も多い。調査の結果、種子発芽率に影響を及ぼすカメムシ類の存在やチョウ目害虫へのネット被覆の効果とそれによるアブラムシ類の発生の増加が明らかとなった。今後は、未知の病害虫の同定や生態の解明、防除方法のさらなる検討、使用可能な農薬を増やし、効果的に使用するための防除暦の整備が重要であり、生産現場と密に連携し、生産安定化を図っていきたい。

#### 新技術実証・実演会

2日目は、株式会社関東甲信クボタ（自動運転農機・KSAS）、株式会社丸山製作所（ハイクリブーム・動力噴霧機等）、DJI JAPAN 株式会社（農業用ドローン）、XAG JAPAN 株式会社（農業用ドローン・農業用無人車）、有光工業株式会社（常温煙霧機）、株式会社IHI アグリテック（リモコン小型ハンマーナイフモア）から、技術情報について説明があり、その後、屋内・屋外での実演が行われた。

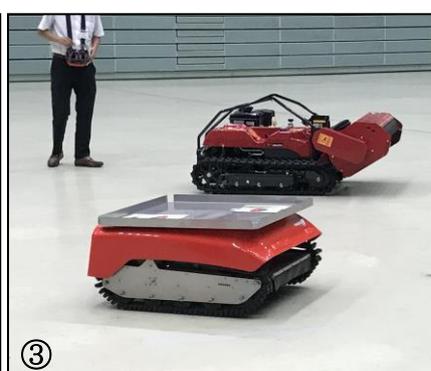


写真:新技術実証・実演会 屋内展示

①:(株)丸山製作所ハイクリブーム・ステレオスプレーヤ ②:XAG JAPAN(株)農業用無人車

③:(株)IHIアグリテック リモコン小型ハンマーナイフモア(上)・オール電動ラジコン草刈り機(下)

## 第 27 回農林害虫防除研究会 シンポジウム「クビアカツヤカミキリの現状と防除対策」

奈良県病虫害防除所 藤森颯太

8月29日に和歌山ビッグ愛でクビアカツヤカミキリをテーマにしたシンポジウムが開催された。本種はウメ、スモモ、サクラ等を加害する侵入害虫であり、奈良県においても被害が拡大している。本県での対策推進上有用と考えられた情報は以下のとおりである。

### 【防除技術】

樹幹へのネット被覆による、羽化成虫の分散・産卵防止技術が検討され、各種資材を比較したところ0.3mmまたは0.4mm目合いの白色防虫ネットの産卵防止効果と孵化幼虫の食入防止効果が高かった。

成虫に対する殺虫剤の直接散布による効果は、アグロスリン水和剤、アクタラ顆粒水溶剤、ダントツ水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤で高い効果を示した。ただし、食入後の若齢幼虫には、どの殺虫剤の効果も低く、浸透性のある展着剤を加用しても効果は変わらなかった。なお、クビアカツヤカミキリ成虫の防除適期は6～8月とされた。(※化学農薬の使用に当たっては作物ごとの登録の有無を確認すること)

幼虫の活動時期である4～10月には、フラスの出ている樹から幼虫を掘り出して捕殺することが重要であるが、フラスを大量に排出する2年目幼虫は6月頃から蛹室を

形成するために樹の奥に潜り込んでしまうため、掘り取りはそれまでにやる必要がある。掘り取りにあたっては、先端をフック状に曲げたピアノ線を用いれば、奥の方の幼虫を引きずり出しやすい。

卵は紫外線発光するため、ブラックライトを照射することで容易に見つけることができる(※目に悪いのでUVカットゴーグルを着用すること)。産卵が数個程度であれば削り取ることで防除が可能。ただし、大量に産卵されていた場合は、有効な殺卵効果のある殺虫剤が判明していないので、防除は困難である。

### 【生態的特徴】

成虫は羽化時には約400個の卵を持っており、良い場所には5～6個ずつ固めて産卵する。特にモモを好む傾向にあり、樹あたり200頭以上の幼虫が寄生していることもある。モモの被害は樹齢8～9年で急増する。

桜では株元付近でのフラス排出が多いが、果樹では1～2m高付近の排出が多く、直径5cmの枝でもフラスが排出する。

和歌山県の室内試験では、成虫はカキに産卵せず、幼虫をカキ枝に強制接種しても発育しなかった。

登録農薬失効情報 (2023.6.1~2023.8.31)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)の登録農薬失効情報より抜粋

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	申請者名 (略称)	失効日 月/日/年
<b>殺虫剤</b>				
21517	ハモグリミドリヒメコバチ剤	ミドリヒメ	住友化学	7/6/23
<b>殺菌剤</b>				
10543	I B P 粒剤	キタジン P 粒剤	アシア化学	8/4/23
14717	イソプロチオラン粉剤	フジワン粉剤 D L	日本農薬	6/5/23
16890	トルクロホスメチル・ヒドロキシイソキサゾール粉剤	住化リゾレックス H 粉剤	住友化学	8/8/23
19043	イミノクタジン酢酸塩・トルクロホスメチル水和剤	リゾレックスベフランフロアブル	住友化学	8/24/23
19051	イミノクタジン酢酸塩・トルクロホスメチル粉剤	リゾレックスベフラン粉剤 D L	住友化学	8/24/23
21194	メトミノストロピン剤	オリブライト 2 5 0 G	バ イエル	8/31/23
<b>除草剤</b>				
16892	メトラクロール乳剤	デュアール乳剤	シダックス	8/24/23
16895	プロメトリン・メトラクロール水和剤	コダール水和剤	シダックス	8/24/23
17261	ダイムロン・ベンスルフロメチル・メフェナセット粒剤	S D S ザーク D 粒剤 1 7	イデ イーエス	7/3/23
18599	テニクロール・ベンスルフロメチル水和剤	トクソークサメツ L フロアブル	イデ イーエス	7/3/23
19135	ピリプチカルブ・ベンスルフロメチル水和剤	[ D I C ] カルシヨットフロアブル	日本曹達	8/14/23
19811	テニクロール・ピリプチカルブ・ベンスルフロメチル水和剤	[ D I C ] キングダム L フロアブル	日本曹達	8/14/23
19703	カフェンストール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロメチル粒剤	永光ジョイスター 1 キロ粒剤 5 1	イデ イーエス	7/3/23
19797	カフェンストール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロメチル水和剤	永光ジョイスターフロアブル	イデ イーエス	7/3/23
21123	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	バイエル イノーバ D X 1 キロ粒剤 7 5	バ イエル	6/30/23
21606	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	バイエルイノーバ D X アップ 1 キロ粒剤 7 5	バ イエル	6/30/23
21821	ダイムロン・フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	バイエルライジング 1 キロ粒剤 7 5	バ イエル	6/30/23
21990	オキサジアルギル・オキサジクロメホン水和剤	サブライズフロアブル	理研グリーン	6/6/23
22056	アトラジン・メトラクロール水和剤	ゲザノンフロアブル	シダックス	8/24/23
22311	ダイムロン・フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル水和剤	イノーバ D X アップ L フロアブル	バ イエル	6/30/23
22393	オキサジアルギル水和剤	フェナックスフロアブル	バ イエル	8/8/23
22621	カフェンストール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロ・ベンゾピシクロン粒剤	フルイニング 1 キロ粒剤	石原産業	6/29/23
22622	カフェンストール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロ・ベンゾピシクロン粒剤	ジャイブ 1 キロ粒剤	石原バ イ	6/29/23
22796	カフェンストール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロ・ベンゾピシクロン粒剤	タンボエース 1 キロ粒剤	ケーエス	6/29/23
22847	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	イノーバトリオ 1 キロ粒剤 5 1	バ イエル	6/30/23
23029	カフェンストール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロ・ベンゾピシクロン粒剤	ジャイブスカイ 5 0 0 グラム粒剤	石原バ イ	6/29/23
23030	カフェンストール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロ・ベンゾピシクロン粒剤	タンボエーススカイ 5 0 0 グラム粒剤	ケーエス	6/29/23
23115	オキサジクロメホン・ピリミスルファン・ベンゾピシクロン粒剤	ナギナタ 1 キロ粒剤	アシア化学	6/2/23
23175	カフェンストール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロ・ベンゾピシクロン粒剤	ジャイブジャンボ	石原バ イ	6/29/23
23176	カフェンストール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロ・ベンゾピシクロン粒剤	タンボエースジャンボ	ケーエス	6/29/23
23463	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	イノーバトリオ 1 キロ粒剤 7 5	バ イエル	6/30/23
23464	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル水和剤	イノーバトリオフロアブル	バ イエル	6/30/23
23465	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	イノーバトリオジャンボ	バ イエル	6/30/23
23466	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル水和剤	イノーバトリオ L フロアブル	バ イエル	6/30/23
23467	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	イノーバトリオ L ジャンボ	バ イエル	6/30/23
24752	ピラクロニル・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ粒剤	クイックカットジャンボ	北興産業	6/27/23
24753	ピラクロニル・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ粒剤	クイックカット 1 キロ粒剤	北興産業	6/27/23
24754	ピラクロニル・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ水和剤	クイックカットフロアブル	北興産業	6/27/23
<b>その他剤</b>				
23426	M C P B 乳剤	兼商マデック	カネヨリ	6/21/23